



新技術の活用について



北海道開発局 事業振興部
技術管理課長 谷村 昌史

国土交通省 技術基本計画 新技術の位置付け

平成24年12月10日

新たな「国土交通省技術基本計画」の策定

国土交通省技術基本計画の構成(詳細版)

(前文) 国土交通省技術基本計画について

○技術政策の基本方針の明示 ○技術研究開発の推進と技術の効果的な活用 ○国土交通技術の国際展開、技術政策を支える人材の育成、社会の信頼の確保 ○計画のフォローアップ

【第1章】技術政策の基本方針

1. 国土交通行政における技術政策の基本的な考え方

- 国土交通行政における技術政策
 - ・技術政策（基本的な考え方、内容・定義）
- 国土交通行政において技術が果たす役割

国土交通行政上の事業・施策を支え、それらの効果及び効率を向上させる技術に関する行政的な取組の集約であり、イノベーションの創出による国土又は海洋を巡る新たな事業・施策の展開を実現し、もって国民生活・経済社会・産業活動の発展に資するもの。

- ・震災からの復旧・復興及び災害に強い国土づくりのための総合的な事業・施策の更なる効果向上に資する技術的な取組
- ・公共事業の計画から実行、管理の各過程における効果及び効率の更なる向上、革新を促す技術的側面からの難事業
- ・安全・安心の向上に向け、道路・橋梁等の設計・施工・製造・運用等に係る技術基準の整備と規制標準措置の運用
- ・持続可能な社会を構築するため、環境負荷低減から環境共生・共生などの環境調和に資する技術的な取組
- ・産業競争力強化のための民間企業における技術研究開発の促進や国際標準・国際標準整備への積極的参画
- ・我が国の成長を支えてきた社会資本整備に係る技術及び事業・施策の「パッケージ」としての海外展開
- ・共通基盤となる地理空間情報・気象情報・海洋情報等の整備
- ・技術研究開発に係る難事業
- ・高い有効性等、優れた技術の普及促進
- ・人材の育成や組織体制の整備
- ・技術に対する社会の信頼の確保

2. 考慮すべき諸情勢

- 東日本大震災等の災害から学ぶこと
 - ・災害に対する基本的な考え方として、完全防止から人命第一・被害最小化への転換
 - ・既往の設計値を超える外力に対する考え方
- 国土交通行政を巡る諸情勢
 - ・人口減少と少子・高齢化、厳しい経済・財政状況、国土の内外をまたぐ人材・物流の活性化と国際的な競争の激化、地球温暖化等

3. 前計画の実績と課題

- 事業、施策と更なる連携の必要性
- 統合・融合による効果の最大化
- 技術研究開発特性に応じた支援

4. 今後の技術政策の基本方針

- 技術政策を進めるうえでの基本姿勢
- 技術政策の方向性
- 技術政策の基本方針

【第2章】技術研究開発の推進及び新技術と既存技術の効果的な活用

2-1 技術研究開発の方向性

1. 基本的な考え方
2. 技術研究開発の実施方針
 - 社会ニーズ及び技術シーズの的確な把握による技術研究開発対象の設定
 - 関連する取組の連携
 - 多様な主体の協力、推進体制の確保
3. 今後取り組むべき技術研究開発
 - 安全・安心の確保
 - 持続可能で活力ある国土・地域の形成と経済活性化
 - 技術研究開発を支える共通基盤の創造

2-2 重点プロジェクトの推進

1. 基本的な考え方
2. 7つの重点プロジェクト
 - I. 災害に強いレジリエントな国土づくり
 - II. 社会資本維持管理・更新
 - III. 安全・安心かつ効率的な交通の実現
 - IV. 海洋フロンティア
 - V. グリーンイノベーション
 - VI. 国土・地球観測基盤情報
 - VII. 建設生産システム改善

2-3. 技術研究開発の推進施策

- 技術政策における産学官の役割
- 産学等による技術研究開発の促進・支援
- 技術基準の策定及び国際標準や国際標準の整備
- 技術研究開発の評価

2-4 新技術と既存技術の効果的な活用

1. 基本的な考え方
2. 技術の効果的な活用の方策
 - 新技術活用システムの再構築
 - 技術基準の適用による効果の高い技術の活用促進
 - 他分野及び民間等の技術の活用
 - 知の体系化(プラットフォーム)の推進

【第3章】国土交通分野における技術の国際展開

- 我が国の技術の強みを活かした国際展開
- 基準・標準化による国際展開の推進
- 国際展開における人材面からの取組
- 国際貢献の積極的な推進

【第4章】技術政策を支える人材の育成

- 技術政策を支える産学官の人材に求められる能力資質
- 国土交通省における人材の育成方策

【第5章】技術に対する社会の信頼の確保

- 災害、事故等に対する迅速且つ適切な対応
- 事業、施策に対する理解の向上と社会の信頼の確保
- 社会の期待に応える技術研究開発の推進
- 国民からの信頼を得るための実施上の留意点

【第6章】技術基本計画のフォローアップ

- 計画のフォローアップの考え方、実施方針

新技術活用の位置付け

国土交通省 技術基本計画

技術研究開発の方向性

2. 技術研究開発の実施方針

- 社会ニーズ及び技術シーズの的確な把握による技術研究開発対象の設定
- 関連する取り組みの連携
- 多様な主体の協力、推進体制の確保

3. 今後の取り組むべき技術研究開発

- 安全・安心の確保
- 持続可能で活力ある国土・地質の形成と経済活性化
- 技術研究開発を支える共通基盤の創造

公共事業コスト構造改善プログラム

本プログラムは、厳しい財政事情が続くなか、引き続きコスト縮減の取組を継続する必要がある一方で、行き過ぎたコスト縮減は品質の低下を招く恐れもあり、今までのコスト縮減のみを重視した取組から、コストと品質の両面を重視する取組への転換を図る。

民間技術の積極的な活用（施策12. 公共工事等における新技術活用システム（NETIS）を通じた民間技術の積極的活用）

H1 ~ 新技术の試行と効果検証を開始

北海道開発局が独自に新技术の試行を開始。
北海道開発局技術活用パイロット事業

H15~ 新技术の効果検証を強化

全国の新技术を活用する取り組み（公共工事における技術活用システム）に準じて効果検証を強化

試験フィールド事業・・・現場適合性等の検証
技術活用パイロット事業・積算や施工に関する検証

H18~ 新技术活用システムの運用開始

国土交通省の新技术を登録、活用、評価検証する
取り組みを開始

NETIS(データベース)

北海道開発局HPからNETISへ



北海道開発局HPの『防災・技術 機械・電気通信』
『新技術活用システム』
『NETIS』から新技術情報を提供するデータベースが表示されます



| 防災対策 | 公開・閲覧情報 | 北海道エコ・コンストラクション・イニシアティブ | 技術情報 |
|-------------|--------------|-------------------------|-------------------|
| 防災対策 | 積算基準の閲覧書籍 | 北海道エコ・コンストラクション・イニシアティブ | CALS/EC |
| 各種防災情報 | 施工パッケージ型積算方法 | | 新技術活用システム (NETIS) |
| 防災に関する資料 | 北海道開発局単価 | 環境家計簿 | コスト削減改善 |
| 水防災教育用資料 | 建設副産物 | エココン手帳(仮称) | 通年施工 |
| 防災に関するQ&A | 建設リサイクル | 資源バンク「土砂バンク」 | 北の技術情報誌Hint 1 |
| 津波対策検討委員会 | 建設副産物実態調査 | 資源バンク「刈草バンク」 | 北海道発の寒地開発技術 |
| 雪水期の津波対策の検討 | | | |

新技術情報提供システム
データベース《NETIS》へ

NETIS(データベース)による新技術の検索

NETIS 新技術情報提供システム
New Technology Information System

NETISとは | 新技術の検索 | 新技術の最新情報 | 新技術の申請方法

NETISのRSS
配信 RSS サイトマップ

検索方法

キーワード検索

■新技術の検索

▶キーワード入力

評価情報 申請情報

- AND条件(全文検索)
 - OR条件(同義語検索)
- AND条件、OR条件とは・・・

NETIS震災復旧・復興支援サイト

2011.07.06

新技術情報提供システム(NETIS)に登録された技術を対象として、震災復旧・復興に資する技術を募り、広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援します。

■NETISとは

国土交通省は、新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として、新技術情報提供システム(New Technology Information System:NETIS)を整備しました。NETISは、国土交通省のイントラネット及びインターネットで運用されるデータベースシステムです。

パンフレット: [公共工事等における新技術活用システム](#) 実施規約: [NETIS掲載情報の取り扱いについて](#)
パンフレット: [公共工事等における新技術活用システム\(開発者、施工者、コンサルタント向け\)](#)

新技術情報の登録件数他 評価情報:1024件 申請情報:4603件
推奨技術(10件) 準推奨技術(30件) 活用促進技術(66件) 設計比較対象技術(234件) 少実績優良技術(48件)

■新技術の検索

▶キーワード入力

評価情報 申請情報

- AND条件(全文検索)
 - OR条件(同義語検索)
- AND条件、OR条件とは・・・

工種の検索

土工

掘削工/埋戻工/熱均し工/締固め工/運搬工/残土処理工/無人化施工/安定処理工/路床改良工/軽重盛土工/施工管理/その他

共通工

法面工/擁壁工/連続地中壁工/コンクリート矢張り工/排水構造物工/軟弱地盤処理工/深層混合処理工/薬液注入工/アンカー工/構造物とりだし工/コンクリート削孔工/ボックスカルバート工/旧橋撤去工/かご工/情報化施工/その他

基礎工

鋼管・既製コンクリート杭打設工/場所打ち杭工/深礎工/ケーソン工/鋼管矢張り基礎工/その他

コンクリート工

コンクリート打設/養生/モルタル工/型枠工/溶接金網設置/鉄筋工/施工管理/その他

仮設工

矢張り工/仮設材設置撤去工/足場支保工/水位低下工/切土防護柵工/仮設・橋脚工/汚濁防止フェンス工/仮囲い設置工/湯水処理工(一般土木工事)/防塵処理工/連絡通信設備/施工管理/その他

河川海岸

消波根固のブロック/捨石工/消波工/浚渫工/軟弱地盤上における柔構造橋門・橋管/多自然型護岸工/護岸基礎ブロック設置工/野芝種子吹き付け工/袋詰玉石工/施工管理/その他

河川維持

堤防除草工/堤防天端補修/堤防芝養生工/芝張替工/伐木除根工/鹿茸処理工/ボートクラウト工/沈床工/施工管理/その他

砂防工

土工/コンクリート工/仮設工/砂防コンクリート生産運搬(投入)工/水管えんじ工/山腹工/堤冠部保護工/仮設備/現位置機拌混合固化工法/水除工/かご工/集配水ボートクラウト工/洗浄工/施工管理/その他

舗装工

路盤工/アスファルト舗装工/コンクリート舗装工/ブロック舗装/特殊舗装工/薄層カラー舗装工/施工管理/その他

■新技術の最新情報

| 記者発表資料 | 過去の記者発表資料はこちら | What's New | 過去のWhat's Newはこちら |
|--|---------------|--|-------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「公共工事等における新技術活用促進説明会(中国地方整備局)の参加技術の募集について」(平成25年8月22日) ・「道路附属物の支柱の路面境界部のき裂・腐食等の変状を非破壊で確認できる新技術の公募について」(平成25年8月1日) ・「道路附属物の支柱の路面境界部のき裂・腐食等の変状を非破壊で確認できる新技術の公募要領はこちらから」(平成25年8月1日) ・「老朽化対策に資する点検・診断技術の公募について～コンクリートのひび割れについて遠方から検出が可能な技術～」(平成25年7月31日) ・「道路トンネルの覆工コンクリートのうき・はく離を検知する新 | | <ul style="list-style-type: none"> ・【重要】シリコーン粘着シート「シンエツパッチシール」KT-130038-AIについては、当面の間、活用を中止します。掲載情報に誤りがあるため注意願います。2013.08.27 ・9月13日(金)にデータメンテナンスを予定しています。一時、閲覧ができない時間帯がございます。ご了承ください。2013.08.16 ・公開NETISのデータ(8月分)を更新しました。2013.08.16 ・実施規約に基づき、1件の技術についてNETIS掲載を中止します。2013.7.25 ・有用な新技術一覧を更新しました。2013.07.22 | |

NETIS 個別技術の詳細イメージ

事故防止！等のフリーワード検索すると、有用な技術から表示される

技術名称をクリックすると技術の詳細な内容が表示され、ここからフリーワードで新技術も絞り込めます。

キーワード

※NOT検索に入力したキーワードを持つデータは検索から除きます。

比較する技術の選択

CSV出力

ページ印刷

一括印刷

表示項目・順番の設定

「本格運用(H18新制度)未対応」について

★マークは、該当する項目に登録があることを意味します。

技術名称(登録番号)

ランブルストリップス(センターライン対応型)(HK-030032-V)
 1 本技術は警告型切削溝による正面衝突事故対策であり、従来は中央分離帯、センターポール、道路縁で対応していました。本技術は設置費用が安価で、施工時間も短いことから、数km連続して長い区間に施工できるので、結果的に高い事故減少効果が期待できます。
 有 有 [H21推奨][設計比較]

排水性舗装用区画線消去工法「リムーバー」(CB-000013-V)
 2 排水性舗装(高機能舗装)の排水機能を保持して路面標示塗膜の消去が可能です。超高圧水発生装置から送り出された超高圧水を回転噴射装置「スピンジェット等」により路面標示塗膜に噴射し、消去と同時に発生処理材を超強力吸引回収するシステムです。
 有 [H23活用促進]

無散水融雪-熱交換パネル(KK-060022-V)
 3 熱交換パネルは、高熱伝達率の珪石を骨材に用いた高効率なプレキャスト無散水融雪パネルです。少ない熱量でも融雪が可能となります。また、薄厚の歩道タイプを除き、送水管・集水管・バルブユニットを内蔵し、施工手間を大幅に削減可能です。
 有 [設計比較]

イーシーブーム工法(KT-980111-V)
 4 本技術はスリップフォーム工法で、従来はプレキャスト(二次製品)及び現場打コンクリート工法で対応していた。本技術の活用によりコスト削減が図れ、品質の向上が期待できる。
 有 [設計比較]

作業船運航支援・施工管理支援システム(WIT-MVS)(KTK-090002-V)
 5 本システムは、一般船舶と工事用作業船の動向をインターネット上で監視できる工事用運航管理支援システムです。従来と違い、開港には専用機器が不要です。このため、関係機関などと情報を共有でき、工事作業船の円滑な施工調整や海上交通の安全性向上が図れます。
 有 [設計比較]

アマグレフィット、アマグレビット(QS-030011-V)
 6 アマグレフィットは、新設用として受持とグレーチングに特殊金具を取付け不要な開口部を設けることなく取れ上が防止機能を持たすことができます。アマグレビットは既設受持を取替える必要がなく特殊金具を取付ける事によりアマグレフィットと同様の機能を有します。
 有 [設計比較]

とまるくん(普通車用)・(大型車用)(CB-080028-V)
 7 本技術は、道路車線規制において誤って作業域に突入した車両を安全に最速に停止させる技術であり、突入車両を最短で停止させる事により交通誘導員及び作業員の“生命の安全と安心”を確保し、作業環境を向上させることができる技術です。
 有

再帰反射性水性塗料(HR-070013-V)

詳細情報のページ

新技術概要説明情報

「概要」「従来技術との比較」等のタブをクリックすることでそれぞれの内容を閲覧することができます。関連する情報がある場合は画面の上部にあるリンクをクリックすることができます。

[更新履歴](#)

| | | |
|---------------|-------------|-------------------|
| ものづくり 日本大賞 | 国土技術 開発賞 | 建設技術 審査証明 * |
|---------------|-------------|-------------------|

2013.09.11現在

| | | | | | |
|------|------------------------|--------|-------------------------------------|-----------------------------|---|
| 技術名称 | ランブルストリップス(センターライン対応型) | | 事後評価済み技術 (2008.01.25) | 登録No. | HK-C30032-V |
| 事前審査 | 事後評価 | | 技術の位置付け(有用な新技術) | | |
| | 試行実証評価 | 活用効果評価 | 推奨技術 ★ 平成21年度~ 平成20年1月29日~ | 準推奨技術 平成20年度~ 平成21年度) | 活用促進技術 設計比較対象技術 ★ (2008.1.29~) |
| 有 | 有 | 有 | 有用な新技術の適用期間 | | |

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。申請情報の最終更新年月日:2009.04.07

[概要](#) [従来技術との比較](#) [特許・審査証明](#) [単価・施工方法](#) [問合せ先・その他](#) [詳細説明資料](#)

| | | | |
|-----|-------------------|----|----|
| 副題 | 警告型切削溝による正面衝突事故対策 | 区分 | 工法 |
| 分類1 | 付属施設 - 道路付属土工 | | |

概要

①何について何をする技術なのか?
 2車線道路のセンターライン上で舗装路面を凹型に切削することにより、走行車両がセンターラインを超えたときに、ゴロゴロという音と振動を発生させてドライバーに覚醒・注意を促し、車線逸脱による正面衝突事故を防止する技術です。

②従来/どのような技術で対応していたのか?
 中央分離帯、センターポール(ポストコーン)、道路縁(チャッターバー)といった正面衝突事故の防止対策が、従来技術として挙げられます。

③公共工事のどこに適用できるのか?
 正面衝突事故が多発している郊外部の2車線道路のセンターライン上に設置します。なお、平野部・山岳部のいずれでも適用可能であり、新設・既設を問わずアスファルト舗装路面に適用できます。



新技術(NETIS)の最新情報

新技術の試行を目的とした公募

社会資本を安全により長く利用できるよう、劣化や損傷の状況を確実に把握による、戦略的な維持管理・更新を行うことを目的に、公共事業等における新技術活用システム(NETIS)を活用し、既に実用化段階にある劣化診断技術の公募と試行などの取り組みが行われています。

■新技術の最新情報

記者発表資料

[過去の記者発表資料はこちら](#)

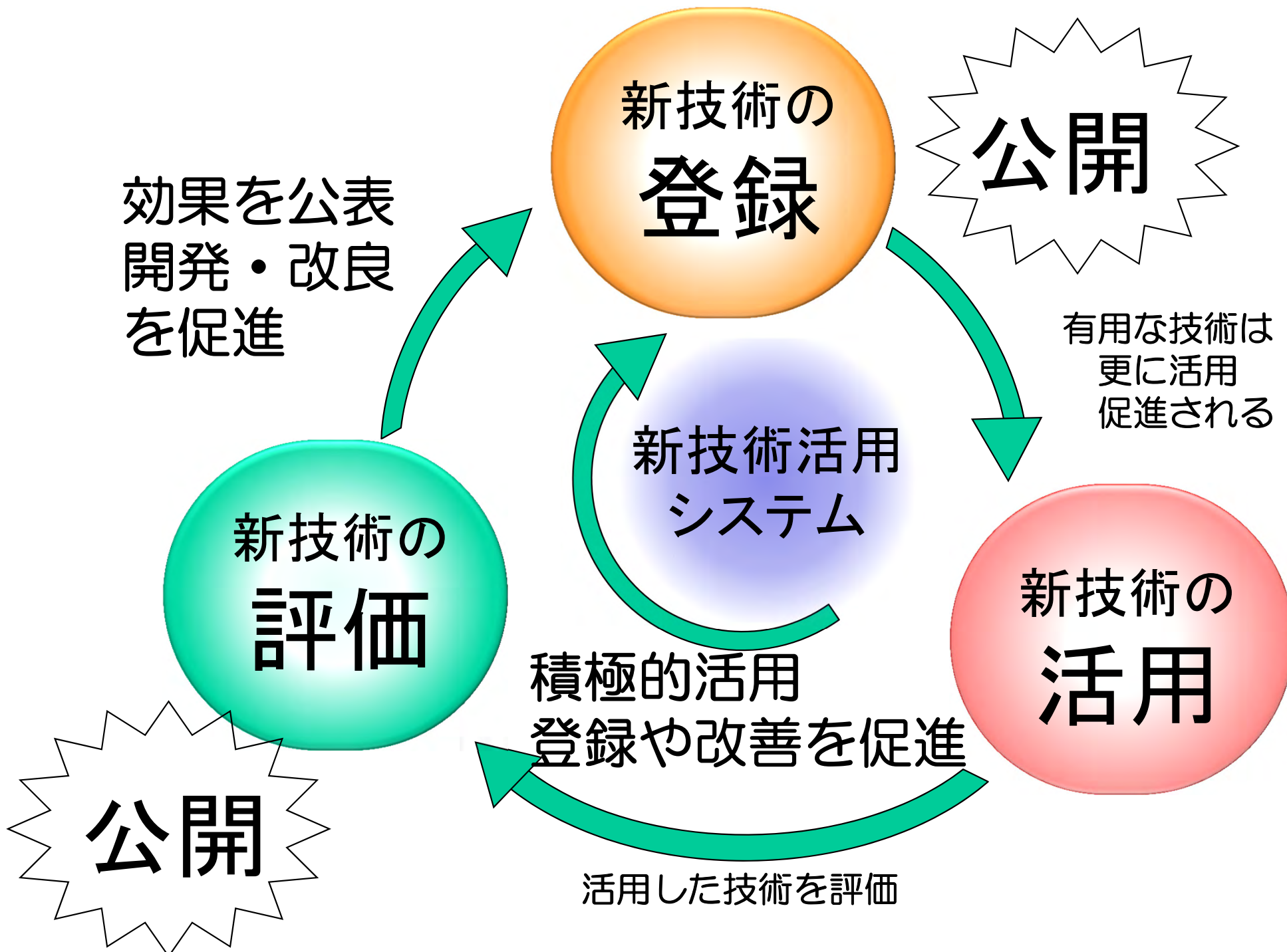
- ・[「公共工事等における新技術活用促進説明会\(中国地方整備局\)の参加技術の募集について」\(平成25年8月22日\)](#)
- ・[「道路附属物の支柱の路面境界部のき裂・腐食等の変状を非破壊で確認できる新技術の公募について」\(平成25年8月1日\)](#)
- ・[「～道路附属物の支柱の路面境界部のき裂・腐食等の変状を非破壊で確認できる新技術の公募要領はこちらから～\(平成25年8月1日\)」](#)
- ・[「老朽化対策に資する点検・診断技術の公募について～コンクリートのひび割れについて遠方から検出が可能な技術～」\(平成25年7月31日\)](#)
- ・[「道路トンネルの覆工コンクリートのうき・はく離を検知する新技術の公募について」\(平成25年6月21日\)](#)

**新技術情報提供システム
《NETIS》の新技術の最新情報に詳細情報のリンクがあります！**

国土交通省 報道発表資料

The screenshot shows the website of the Ministry of Land, Infrastructure, and Transport (国土交通省). The page is titled "報道発表資料" (Press Releases). A red arrow points to a specific news release titled "老朽化対策に資する点検・診断技術の公募について ～コンクリートのひび割れについて遠方から検出が可能な技術～" (Public solicitation for inspection and diagnosis technology for aging countermeasures ~Crack detection technology for concrete that can detect cracks from a distance~). Other news releases listed include information about a meeting of the subcommittee of the independent administrative法人 evaluation committee, a survey on the use of asbestos in public buildings, and the creation of evaluation reports for individual public works.

新技術活用システムの取り組み



2 新技術の登録状況

● NETIS（新技術情報提供システム）登録技術の区分

- ◇ NETISとは、新技術に関する情報を共有及び提供するためのデータベースです。
- ◇ NETISに登録されている技術情報には次の2分類があります。
- ◇ 申請者が作成した申請情報（カタログ情報）と、有識者会議が評価した評価情報に分類されます。

新技術

【検索対象外】

- ① NETIS削除技術
（掲載期間終了）
- ② 開発者と連絡が
取れない技術

NETIS（申請情報） 4,624件

NETIS（評価情報） 1032件

直轄工事で活用し、事後評価等
がされた技術

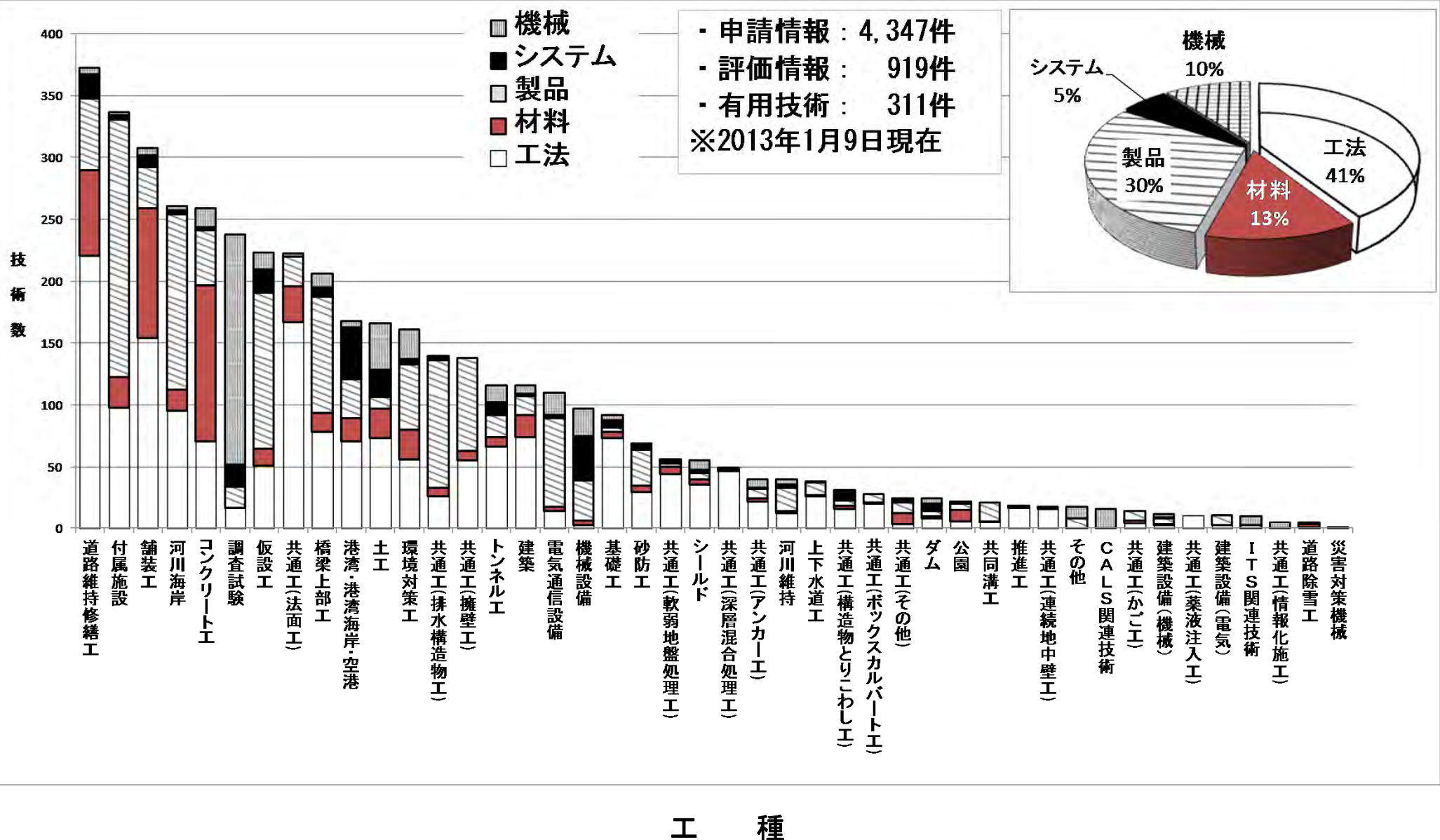
有用な技術 354件

| | |
|------------|------|
| 「推奨技術」 | 10件 |
| 「準推奨技術」 | 30件 |
| 「設計比較対象技術」 | 235件 |
| 「少実績優良技術」 | 48件 |
| 「活用促進技術」 | 65件 |

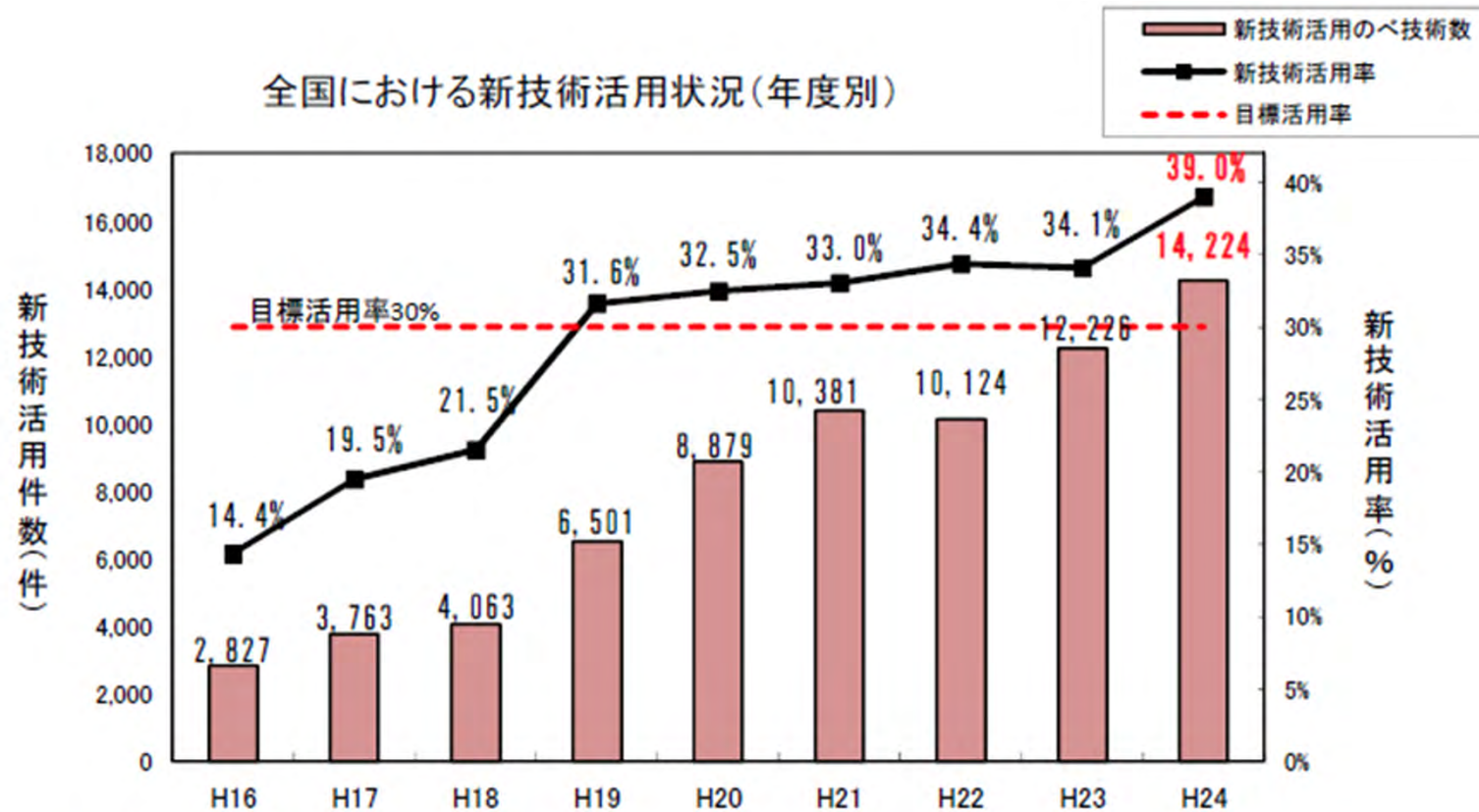
それぞれの件数はH25.10.3現在

2 新技術の登録状況(工種別)

NETIS登録技術の工種別技術の傾向



全国の新技術活用状況

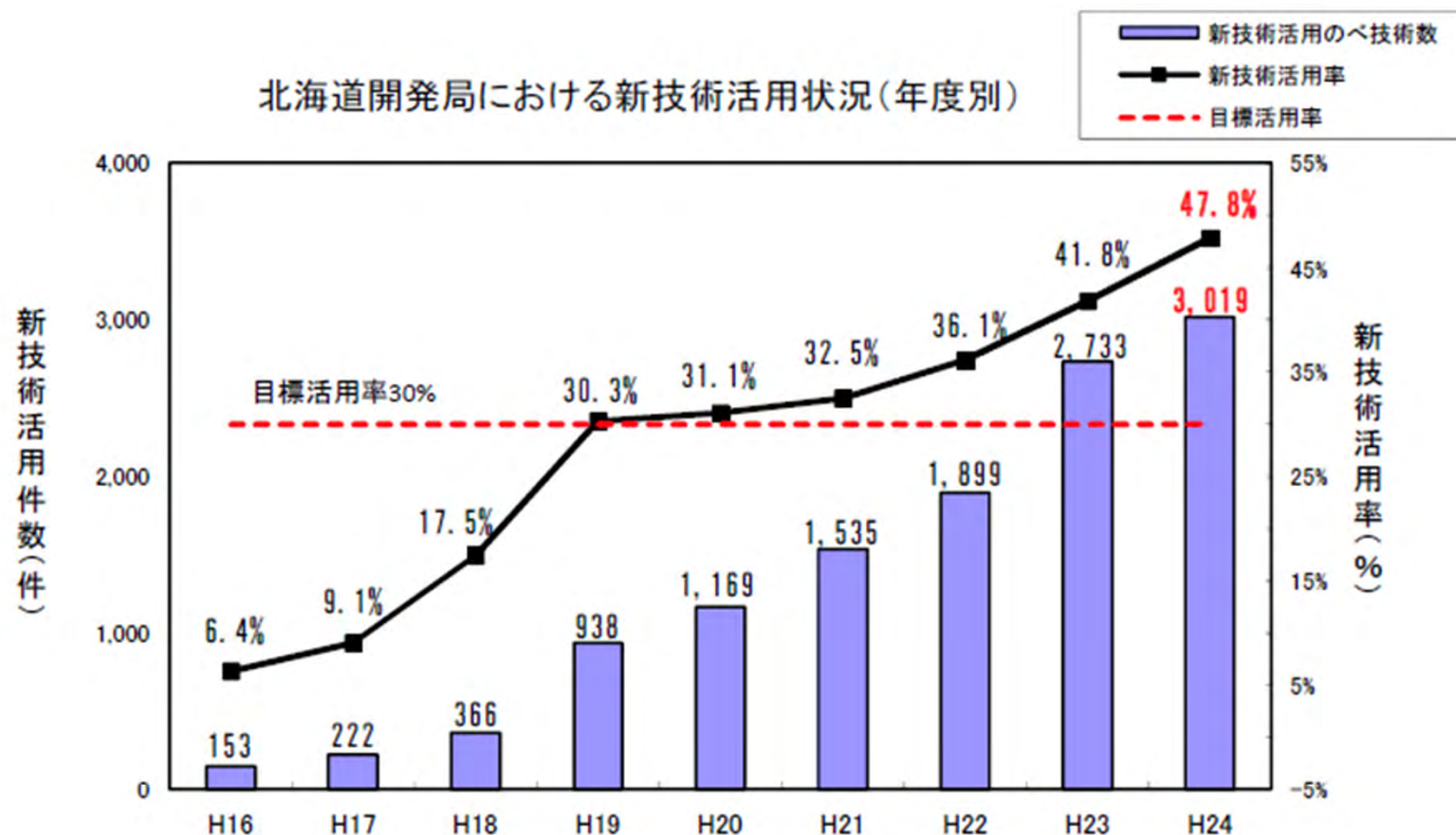


全国における新技術活用状況(年度別)

| 新技術活用状況 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ① 総工事件数 | 14,764 | 13,748 | 12,648 | 13,453 | 14,435 | 15,051 | 12,227 | 13,444 | 12,910 |
| ② 新技術活用工事件数※1 | 2,120 | 2,677 | 2,720 | 4,255 | 4,687 | 4,972 | 4,202 | 4,584 | 5,035 |
| ③ 新技術活用のべ技術数 | 2,827 | 3,763 | 4,063 | 6,501 | 8,879 | 10,381 | 10,124 | 12,226 | 14,224 |
| ②/① 新技術活用率 | 14.4% | 19.5% | 21.5% | 31.6% | 32.5% | 33.0% | 34.4% | 34.1% | 39.0% |

※1 新技術活用工事件数：新技術を1件以上活用した工事の件数

北海道開発局の新技术活用状況



北海道開発局における新技术活用状況(年度別)

| 新技术活用状況 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① 総工事件数 | 2,315 | 2,148 | 1,718 | 2,160 | 2,075 | 2,205 | 1,813 | 1,984 | 1,874 |
| ② 新技术活用工事件数※1 | 148 | 195 | 300 | 655 | 645 | 717 | 655 | 830 | 896 |
| ③ 新技术活用のべ技術数 | 153 | 222 | 366 | 938 | 1,169 | 1,535 | 1,899 | 2,733 | 3,019 |
| ②/① 新技术活用率 | 6.4% | 9.1% | 17.5% | 30.3% | 31.1% | 32.5% | 36.1% | 41.8% | 47.8% |

※1 新技术活用工事件数：新技术を1件以上活用した工事の件数

国土交通省 技術基本計画 新技術の位置付け

平成24年12月10日

新たな「国土交通省技術基本計画」の策定

国土交通省技術基本計画の構成(詳細版)

(前文) 国土交通省技術基本計画について
○技術政策の基本方針の明示 ○技術研究開発の推進

【第1章】技術政策の基本方針

1. 国土交通行政における技術政策

- 国土交通行政における技術政策
・技術政策（基本的な考え方、内容・定義）
- 国土交通行政において技術が果たす役割

国土交通行政上の事業・施策を支え、それらの効果及び効率を向上
合休であり、イノベーションの創出による国土又は海洋を巡る新たな
活・経済社会・産業活動の発展に資するもの。

- ・震災からの復旧・復興及び災害に強い国土づくりのための総合的な事業
- ・公共事業の計画から実行、管理の各過程における効果及び効率の更なる
安全・安心の向上に向け、建設・橋梁等の設計・施工・製造・運用等に係る
- ・持続可能な社会を構築するため、環境負荷低減から環境共生・共生などの
- ・産業競争力強化のための民間企業における技術研究開発の促進や国際
我が国の成長を支えてきた社会資本整備に係る技術及び事業・施策の
共通基盤となる地理空間情報・気象情報・海洋情報等の整備
- ・高い有効性等、優れた技術の普及促進
- ・人材の育成や組織体制の

2-4 新技術と既存技術の効果的活用

2. 新技術の効果的な活用方策

- 新技術活用システムの再構築
- 技術基準の適用による効果の高い技術の活用促進
- 他分野の民間等の技術の活用
- 知の体系化（ナレッジマネジメント）の推進

【第2章】技術研究開発の推進及び新技術と既存技術の効果的な活用

2-1 技術研究開発の方向性

1. 基本的な考え方
2. 技術研究開発の実施方針
 - 社会ニーズ及び技術シーズの的確な把握による技術研究開発対象の設定
 - 関連する取組の連携
 - 多様な主体の協力、推進体制の確保
3. 今後取り組むべき技術研究開発
 - 安全・安心の確保
 - 持続可能で活力ある国土・地域の形成と経済活性化
 - 技術研究開発を支える共通基盤の創造

2-2 重点プロジェクトの推進

1. 基本的な考え方
2. 7つの重点プロジェクト
 - I. 災害に強いレジリエントな国土づくり
 - II. 社会資本維持管理・更新
 - III. 安全・安心かつ効率的な交通の実現
 - IV. 海洋フロンティア
 - V. グリーンイノベーション
 - VI. 国土・地球観測基盤情報
 - VII. 建設生産システム改善

2-3. 技術研究開発の推進施策

- 技術政策における産学官の役割
- 産学等による技術研究開発の促進・支援
- 技術基準の策定及び国際基準や国際標準の整備
- 技術研究開発の評価

2-4 新技術と既存技術の効果的な活用

1. 基本的な考え方
2. 技術の効果的な活用の方策
 - 新技術活用システムの再構築
 - 技術基準の適用による効果の高い技術の活用促進
 - 他分野及び民間等の技術の活用
 - 知の体系化（ナレッジマネジメント）の推進

【第3章】国土交通分野における技術の国際展開

- 我が国の技術の強みを活かした国際展開
- 基準・標準化による国際展開の推進
- 国際展開における人材面からの取組
- 国際貢献の積極的な推進

【第4章】技術政策を支える人材の育成

- 技術政策を支える産学官の人材に求められる能力資質
- 国土交通省における人材の育成方策

【第5章】技術に対する社会の信頼の確保

- 災害、事故等に対する迅速且つ適切な対応
- 事業、施策に対する理解の向上と社会の信頼の確保
- 社会の期待に応える技術研究開発の推進
- 国民からの信頼を得るための実施上の留意点

【第6章】技術基本計画のフォローアップ

- 計画のフォローアップの考え方、実施方針

新技術活用システムの見直し

～ より良い技術が生まれ出され、活用され、効率的・効果的な国土づくりへ貢献するために ～

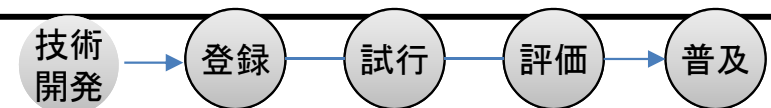
■ 三つの課題

課題1 新規性や進歩性の大きさに係わらず様々な技術が登録されているため、活用される見込みの低い技術が多く登録されている。また、類似技術も多数登録されているため、現場で活用し難くなっている。【大小様々な技術】

課題2 活用されている技術が、施設の本体等に係る本格的な技術よりも、現場での適用が容易な周辺技術に偏っている。【活用の偏り】

課題3 活用した技術に対する評価が、一律なものとなっており、個々の技術特性が反映されていない。【一律な評価】

■ 三つの改善



改善1 (課題1に対し→) **登録段階における技術の確認・精査及び活用を通じた選別**

- ・新技術の登録に際し、既存技術に対する優位性や活用見込みを確認・精査し、活用及び評価を通じて効果の高い技術を選別。

改善2 (課題2に対し→) **現場での積極的な試行の促進**

- ・有効な可能性のある未活用の新技術を、発注者・施工者・開発者の各主体により試行促進。
- ・自治体や独立行政法人等における試行・活用の実績も適宜把握。

改善3 (課題3に対し→) **評価の質の向上**

- ・技術特性及び重要度に応じてメリハリのある評価を行い、普及に繋げる。
- ・活用結果のオープン化を促進し、更なる活用及び技術改善を促進。

北海道開発技術研究発表会特別セッション

北海道開発技術研究発表会特別セッションとして、北海道開発局が実施する社会資本整備における技術的な課題に対して、民間企業等が開発した新技術等を広く募集し発表していただく場として「**民間企業が開発した新技術等の発表**」を予定しています。

行政ニーズの公表

シーズを広く募集

公募開始予定： 平成25年11月上旬

(詳細は開発局のHPに掲載を予定しています)

開催予定日： 平成26年2月18・19・20日

開催予定場所： 北海道開発局研修センター

札幌市東区北6条東12丁目